

# サイボウズ ガルーン バージョンアッププログラム マニュアル

第 4.3 版

サイボウズ株式会社

# はじめに

本書は、「サイボウズ ガルーン バージョン 2.1.3」を「サイボウズ ガルーン バージョン 3.5.0」にバージョンアップする方法を説明しています。

## 対象読者

本書の対象読者は次のとおりです。

- 一般ユーザー: サイボウズ ガルーンを使用するユーザーです。サイボウズ ガルーンを管理する権限はありません。
- システム管理者: サイボウズ ガルーンを管理する権限を持つ管理者です。

## 本書で使用している表記

本書では、次の表記を使用しています。

| 表記      | 意味                         |
|---------|----------------------------|
| 注意      | 操作に注意が必要な事項や制限事項           |
| 補足      | 操作の補足説明や別の操作方法、知っている则便利な情報 |
| [ ]     | 画面上のボタン、リンクまたはタブ           |
| - ##ページ | 参照先のページ                    |

## 本書の作成環境

本書の作成環境は、次のとおりです。

- OS: Windows 7 SP1
- Web ブラウザー: Internet Explorer 8
- 製品バージョン: サイボウズ ガルーン バージョン 3.5.0

本書で掲載している画面表示は、お使いの Web ブラウザーによって異なります。

## 本書で使用している製品名称と略称

本書では、次の略称を使用しています。

| 略称                 | 製品名   |
|--------------------|---|
| ガルーン               | サイボウズ ガルーン バージョン 3.5.0                          |
| Office 9           | サイボウズ Office 9                                  |
| Office 8           | サイボウズ Office 8                                  |
| Office 7           | サイボウズ Office 7                                  |
| Office 6           | サイボウズ Office 6                                  |
| Garoon 3 converter | Garoon 3 data converter for Cybozu Office Ver.2 |
| Zaseki7 for ガルーン 2 | Zaseki7 for サイボウズ ガルーン バージョン 2.x.x              |

## 商標について

- 記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。また、当社製品には他社の著作物が含まれていることがあります。

個別の商標・著作物に関する注記については、弊社の Web サイトを参照してください。

[http://cybozu.co.jp/company/copyright/other\\_companies\\_trademark.html](http://cybozu.co.jp/company/copyright/other_companies_trademark.html)

なお、本文および図表中では、(TM)マーク、(R)マークは明記していません。

- OpenSSL (Copyright (c) 1998-2001 The OpenSSL Project. All rights reserved.)  
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.  
(<http://www.openssl.org/>)  
This product includes cryptographic software written by Eric Young  
(eay@cryptsoft.com)  
This product includes software written by Tim Hudson  
(tjh@cryptsoft.com)

---

# 目次

---

|  |           |
|--|-----------|
| はじめに .....   | 2         |
| 目次 .....   | 4         |
| <b>1章 バージョンアップの概要 .....</b>                        | <b>6</b>  |
| 1.1 バージョン 2.1.3 からのバージョンアップの流れ .....               | 6         |
| 1.2 バージョン 2.1.3 のガルーン以外からのバージョンアップ .....           | 7         |
| <b>2章 バージョンアップ前の準備と確認 .....</b>                    | <b>9</b>  |
| 2.1 インストールに必要なプログラムの準備 .....                       | 9         |
| 2.1.1 バージョン 2.1.3 のガルーンが対応しない Linux 環境での準備 .....   | 9         |
| 2.1.2 バージョン 2.1.3 のガルーンが対応しない Windows 環境での準備 ..... | 10        |
| 2.1.3 ライブラリーの確認 .....                              | 12        |
| 2.1.4 バージョンと CGI のメモリー消費量の確認 .....                 | 12        |
| 2.1.5 バージョンアップ時に必要なディスクの空き容量の確認 .....              | 12        |
| 2.1.6 連携 API を使用する場合の注意 .....                      | 12        |
| 2.2 IIS の設定を変更する .....                             | 14        |
| 2.3 バージョン 2.1.3 へのバージョンアップ .....                   | 16        |
| 2.4 mysql-4.1 のマウント先の変更 .....                      | 17        |
| 2.5 事前検証 .....                                     | 18        |
| 2.5.1 データベースサーバーのディスク使用量の確認 .....                  | 18        |
| <b>3章 バージョンアップの実行 .....</b>                        | <b>20</b> |
| 3.1 単体構成でのバージョンアップ .....                           | 20        |
| 3.2 サーバー分離構成でのバージョンアップ .....                       | 23        |
| <b>4章 64bit 版のガルーンへのバージョンアップ .....</b>             | <b>27</b> |
| 4.1 32 ビット OS でのバージョンアップ .....                     | 27        |
| 4.2 64 ビット OS でのバージョンアップ .....                     | 29        |
| 4.2.1 64bit 版の Linux 環境でのバージョンアップ .....            | 29        |
| 4.2.2 64bit 版の Windows 環境でのバージョンアップ .....          | 30        |
| <b>5章 バージョンアップ後の確認と作業 .....</b>                    | <b>31</b> |
| 5.1 バージョンアップ実行結果の確認 .....                          | 31        |
| 5.2 バージョンアップ後の作業 .....                             | 33        |

---

|                                |           |
|--------------------------------|-----------|
| 5.3 バックアップの処理時間の確認.....        | 37        |
| <b>付録A サービスの停止方法と起動方法.....</b> | <b>40</b> |
| <b>付録A.1 サービスを停止する.....</b>    | <b>40</b> |
| <b>付録A.2 サービスを起動する.....</b>    | <b>40</b> |

# 1章 バージョンアップの概要

次の製品からバージョン 3.5.0 のガルーンにバージョンアップする場合の作業の流れを説明します。

- バージョン 2.1.3 のガルーン
- バージョン 2.1.2 以前のガルーン
- ほかのサイボウズ製品

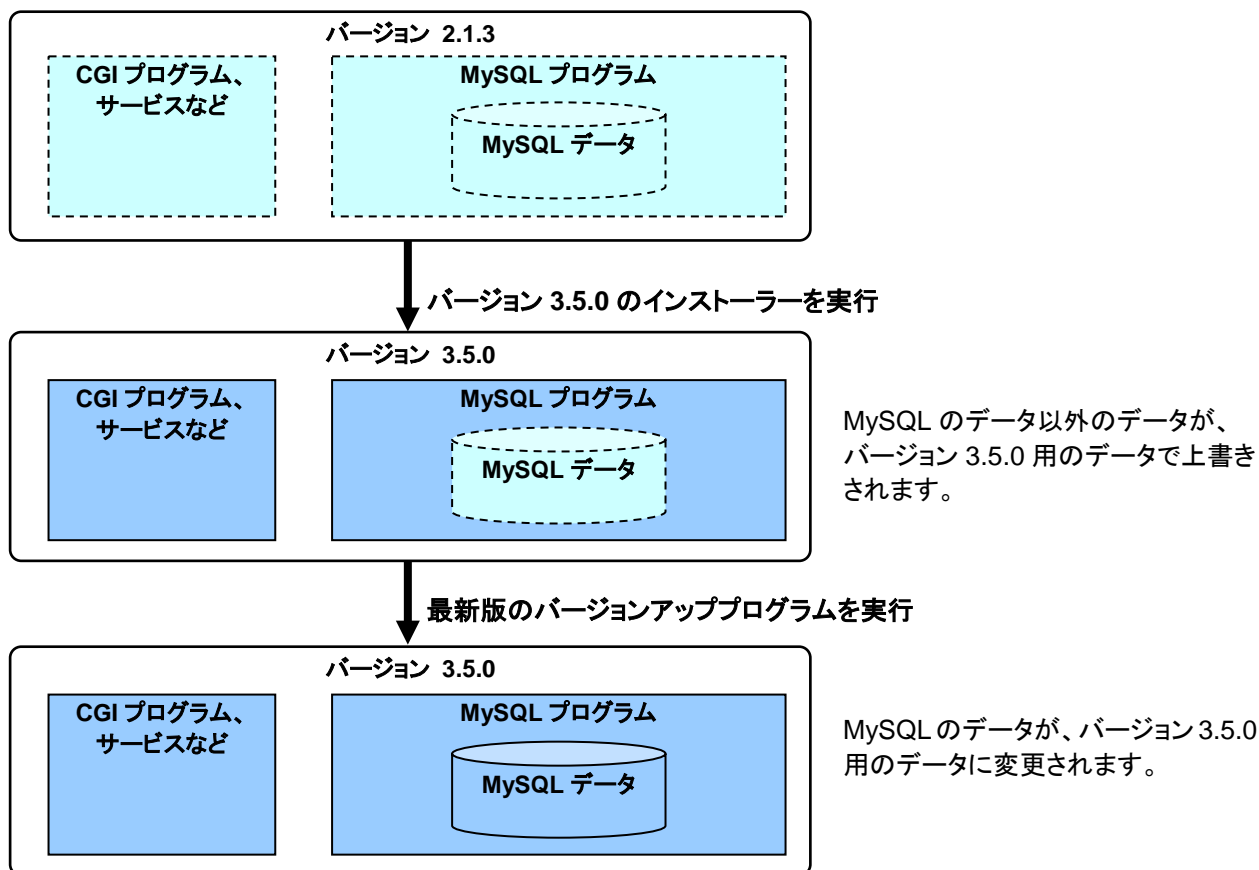
## 1.1 バージョン 2.1.3 からのバージョンアップの流れ

ガルーンをバージョン 2.1.3 から 3.5.0 にバージョンアップする場合は、バージョン 3.5.0 のインストーラーと最新版のバージョンアッププログラムを実行する必要があります。

インストーラーとバージョンアッププログラムは、次のプログラムとデータをバージョンアップします。

- インストーラー : CGI や MySQL などのプログラム
- バージョンアッププログラム : MySQL のデータ

バージョン 2.1.3 のガルーンからのバージョンアップのイメージ:



### 補足

- バージョン 2.5.4 以前のガルーンをバージョンアップすると、在席情報は削除されます。
- バージョン 3.5.0 のガルーンに存在しない画面デザインを使用している場合、バージョンアップ後は標準のデザインが適用されます。

## 1.2 バージョン 2.1.3 のガルーン以外からのバージョンアップ

### バージョン 2.1.2 以前のガルーンからバージョンアップする

はじめにバージョン 2.1.3 のガルーンにバージョンアップします。その後、バージョンアッププログラムを使用して、3.5.0 にバージョンアップします。

### ガルーン以外のサイボウズ製品から移行およびバージョンアップする

Office 7 や Office 8 などからバージョン 3.5.0 のガルーンに移行する場合は、Office 9 にバージョンアップした後、Garoon 3 converter を使用して、Office からガルーンにデータをコンバートします。

Garoon 3 converter については、オフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。

<https://www.cybozu.com/jp/partner/list/sales/>

#### 補足

- ガルーンをバージョン 2.5.0 以降から 3.5.0 にバージョンアップする場合は、バージョンアッププログラムを実行する必要はありません。

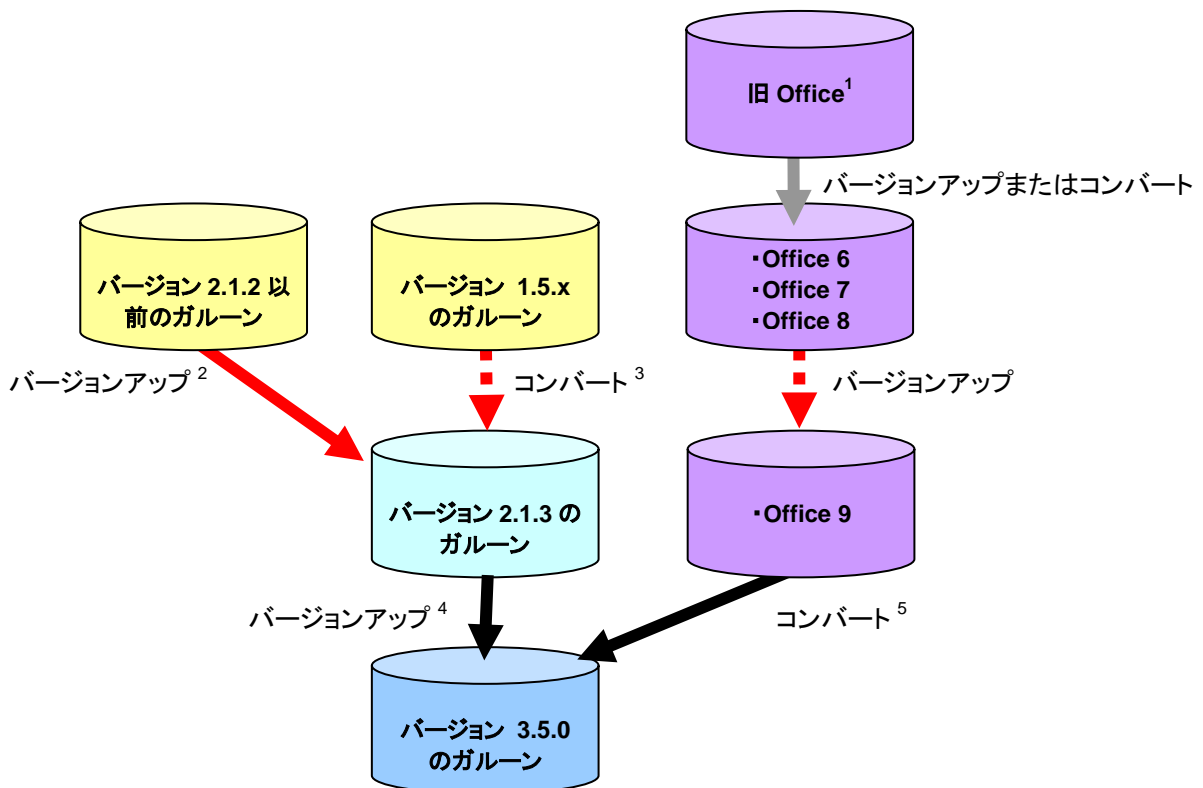
バージョン 2.5.0 以降のガルーンのバージョンアップ手順については、次のマニュアルを参照してください。

バージョン 3.5.0 用『サイボウズ ガルーン インストールマニュアル』「バージョンアップする」

[https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3\\_install](https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3_install)

### 既存のサイボウズ製品からの移行またはバージョンアップのイメージ

バージョン 3.5.0 のガルーンに移行またはバージョンアップできる製品と作業の流れは、次のとおりです。



<sup>1</sup>:「旧 Office」は、サイボウズ Office 4、サイボウズ AG など、Office 6 より前のサイボウズ Office シリーズ製品を示します。

<sup>2</sup>:バージョン 2.1.3 のガルーンのインストーラーを使用します。

## 1章 バージョンアップの概要

---

<sup>3</sup>: 専用のコンバーターを使用します。

<sup>4</sup>: バージョン 3.5.0 のガルーンのインストーラーとバージョンアッププログラムを使用します。

<sup>5</sup>: Garoon 3 converter を使用します。



## 2章 バージョンアップ前の準備と確認

バージョン 3.5.0 のガルーンにバージョンアップする前に必要な、準備と設定について説明します。

### 2.1 インストールに必要なプログラムの準備

バージョン 3.5.0 のガルーンのインストーラーとバージョンアッププログラムを準備します。

ガルーンのインストーラーとバージョンアッププログラムは、弊社 Web サイトからダウンロードできます。

- インストーラー  
<http://products.cybozu.co.jp/garoon3/download/archive/>
- バージョンアッププログラム  
次のどちらかの Web サイトからダウンロードできます。
  - <http://products.cybozu.co.jp/garoon/support/versionup>
- ガルーンのリソースセンター

バージョン 3.5.0 のインストーラーは、アーカイブライブラリーからダウンロードします。

アーカイブライブラリーにアクセスするために必要なユーザー名とパスワードは、サポートオンラインの「ダウンロード」を参照してください。

サポートオンラインは、ガルーンのリソースセンターの有効期間中または試用期間中に利用できます。

バージョンアップ作業に不安がある場合は、オフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。

<https://www.cybozu.com/jp/partner/list/sales/>

#### 注意

- サーバマシンに Zaseki7 for ガルーン 2 がインストールされている場合は、ガルーンをバージョンアップする前に、Zaseki7 for ガルーン 2 をアンインストールする必要があります。詳細は次の FAQ を参照してください。  
<http://cbdb.cybozu.co.jp/cgi-bin/db.cgi?page=DBRecord&did=996&rid=37>

#### 2.1.1 バージョン 2.1.3 のガルーンが対応しないLinux環境での準備

バージョン 2.1.3 のガルーンとバージョン 3.5.0 のガルーンは、対応する環境(OS)が異なります。

バージョン 2.1.3 のガルーンを、バージョン 2.1.3 が対応しない環境でバージョンアップする場合は、専用のガルーンのインストーラーが必要です。

**バージョン 2.1.3 のガルーンが対応しないバージョン 3.5.0 の対応 OS**

- Red Hat Enterprise Linux AS v.4 (64bit 版)
- Red Hat Enterprise Linux ES v.4 (64bit 版)
- Red Hat Enterprise Linux 5
- Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform
- Red Hat Enterprise Linux 5 (64bit 版)
- Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform (64bit 版)
- Red Hat Enterprise Linux 6
- Red Hat Enterprise Linux 6(64bit 版)
- SUSE Linux Enterprise Server 11

- SUSE Linux Enterprise Server 11 (64bit 版)

### 上記の OS 専用の、バージョン 2.1.3 のガルーンのインストーラー

- grn-2.1.3a-linux.bin

grn-2.1.3a-linux.bin は、バージョン 2.1.3 のガルーンを、バージョン 2.1.3 が対応しない環境でバージョン 3.5.0 のガルーンにバージョンアップするときに使用します。

作業の流れは次のとおりです。

#### STEP1

運用しているバージョン 2.1.3 のガルーンのデータをバックアップします。

バックアップ手順については、次のマニュアルを参照してください。

『サイボウズ ガルーン 2 管理者マニュアル』「Linux 環境のフルバックアップ」

<http://manual.cybozu.co.jp/garoon2/library/#02>

#### STEP2

grn-2.1.3a-linux.bin を使用して、バージョン 3.5.0 のガルーンが対応する OS を搭載したサーバーマシンに、一時的にバージョン 2.1.3 をインストールします。

次の値はバージョンアップ前の環境と同じ値を設定する必要があります。

- インストール識別子
- データベース接続ユーザーのパスワード

#### STEP3

STEP1 でバックアップしたデータを、STEP2 でインストールしたバージョン 2.1.3 のガルーンにリストアします。

リストア手順については、次のマニュアルを参照してください。

『サイボウズ ガルーン 2 管理者マニュアル』「フルバックアップのリストア」

<http://manual.cybozu.co.jp/garoon2/library/#02>

#### STEP4

バージョン 2.1.3 のガルーンをバージョン 3.5.0 にバージョンアップします。

- 32bit 版のバージョン 3.5.0 にバージョンアップする場合は次のページを参照してください。  
「3章 バージョンアップの実行」 - 20 ページ
- 64bit 版のバージョン 3.5.0 にバージョンアップする場合は次のページを参照してください。  
「4章 64bit 版のガルーンへのバージョンアップ」 - 27 ページ

#### 注意

- grn-2.1.3a-linux.bin は、バージョン 2.1.3 が対応しない OS で、バージョン 3.5.0 にバージョンアップするための専用のプログラムです。運用目的では使用できません。

#### 補足

- バージョン 3.x.x のガルーンの動作環境は、弊社 Web サイトで確認できます。  
<http://products.cybozu.co.jp/garoon/product/environment/>

## 2.1.2 バージョン 2.1.3 のガルーンが対応しないWindows環境での準備

バージョン 2.1.3 のガルーンとバージョン 3.5.0 のガルーンは、対応する環境(OS)が異なります。

バージョン 2.1.3 のガルーンを、バージョン 2.1.3 が対応しない環境でバージョン 3.5.0 にバージョンアップするには、

grn-2.1.3-windows.exe(バージョン 2.1.3 のガルーンのインストーラー)が必要です。

バージョン 2.1.3 のガルーンが対応しないバージョン 3.5.0 の対応 OS:

- Windows Server 2008 Standard(SP2)
- Windows Server 2008 Enterprise(SP2)
- Windows Server 2008 R2 Standard x64(SP1)
- Windows Server 2008 R2 Enterprise x64(SP1)
- Windows Server 2008 Standard x64(SP2)
- Windows Server 2008 Enterprise x64(SP2)

バージョン 2.1.3 が対応しない環境でバージョン 3.5.0 のガルーンにバージョンアップする場合の、作業の流れを確認します。

#### STEP1

運用しているバージョン 2.1.3 のガルーンのデータをバックアップします。

バックアップ手順については、次のマニュアルを参照してください。

『サイボウズ ガルーン 2 管理者マニュアル』「Windows 環境のフルバックアップ」

<http://manual.cybozu.co.jp/garoon2/library/#02>

#### STEP2

grn-2.1.3-windows.exe を使用して、バージョン 3.5.0 のガルーンが対応する OS を搭載したサーバーマシンに、一時的にバージョン 2.1.3 をインストールします。

次の値はバージョンアップ前の環境と同じ値を設定する必要があります。

- インストール識別子
- データベース接続ユーザーのパスワード

#### STEP3

STEP1 でバックアップしたデータを、STEP2 でインストールしたバージョン 2.1.3 のガルーンにリストアします。

リストア手順については、次のマニュアルを参照してください。

『サイボウズ ガルーン 2 管理者マニュアル』「フルバックアップのリストア」

<http://manual.cybozu.co.jp/garoon2/library/#02>

#### STEP4

バージョン 2.1.3 のガルーンをバージョン 3.5.0 にバージョンアップします。

- 32bit 版のバージョン 3.5.0 にバージョンアップする場合は次のページを参照してください。  
「3 章 バージョンアップの実行」 - 20 ページ
- 64bit 版のバージョン 3.5.0 にバージョンアップする場合は次のページを参照してください。  
「4 章 64bit 版のガルーンへのバージョンアップ」 - 27 ページ

#### 注意

- バージョン 2.1.3 のガルーンが対応しない環境では、grn-2.1.3-windows.exe を運用目的で使用しないでください。

#### 補足

- バージョン 3.x.x のガルーンの動作環境は、弊社 Web サイトで確認できます。  
<http://products.cybozu.co.jp/garoon/product/environment/>

### 2.1.3 ライブラリーの確認

使用している環境に、ガルーンを運用するために必要なライブラリーがインストールされていることを確認します。ガルーンが使用するライブラリーについて、詳細は弊社 Web サイトを参照してください。

[http://manual.cybozu.co.jp/tech/linux\\_library.html](http://manual.cybozu.co.jp/tech/linux_library.html)

### 2.1.4 バージョンとCGIのメモリー消費量の確認

バージョン 3.5.0 より前のガルーンを 3.5.0 以降のバージョンにバージョンアップすると、CGI のプロセスあたりのメモリー消費量が増加します。

バージョンごとの、CGI のプロセスあたりのメモリー消費量は、次のとおりです。

| バージョン             | CGI のメモリー消費量 |
|-------------------|--------------|
| 2.0.0 から 3.5.0 まで | 約 40MB       |
| 3.5.0 以降          | 約 55MB       |

ガルーンの利用状況や環境によって、Web サーバーに搭載する必要があるメモリーの量が変わります。メモリーの追加の必要性については、オフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。

<https://www.cybozu.com/jp/partner/list/sales/>

### 2.1.5 バージョンアップ時に必要なディスクの空き容量の確認

ガルーンをバージョンアップするには、CGI 実行可能ディレクトリーに MySQL の data ディレクトリーのデータサイズ以上の空き容量が必要です。

ガルーンはバージョンアップ中に、CGI 実行可能ディレクトリー内のディレクトリーに MySQL のデータを一時的にバックアップ (dump) します。ディスクの空き容量が不足すると、バージョンアップは中止されます。バージョンアップの前に、data ディレクトリーとサーバーマシンの空き容量を確認してください。

既定のディレクトリーとインストール識別子を使用してガルーンをインストールした場合のそれぞれのディレクトリーの位置は、次のとおりです。

- Windows 環境
  - バックアップされたデータの保存先: C:\inetpub\scripts\cbgrn\tmp
  - MySQL の data ディレクトリー: C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0\data
- Linux 環境
  - バックアップされたデータの保存先: /var/www/cgi-bin/cbgrn/tmp
  - MySQL の data ディレクトリー: /usr/local/cybozu/mysql-5.0/data

#### 補足

- 一時的にバックアップされたデータは、バージョンアップ終了時に削除されます。
- 空き容量を確保するためにディスクを追加した場合は、新しい環境にバージョンアップ前のガルーンのデータ (MySQL のデータおよび添付ファイル) をリストアしてから、ガルーンをバージョンアップしてください。

### 2.1.6 連携APIを使用する場合の注意

ガルーンをバージョン 3.5.0 にバージョンアップしてから連携 API を使用する場合、バージョンに対応した連携 API

が必要です。

### 「ガルーン 2 連携 API」を使用していた場合

バージョン 3.5.0 のガルーンで、「ガルーン 2 連携 API」と「ガルーン 3 連携 API」を併用できます。  
併用する場合は、バージョン 3.5.0 のガルーンに対応した、最新版の「ガルーン 2 連携 API」が必要です。

#### 注意

- 「ガルーン 2 連携 API」と「ガルーン 3 連携 API」に互換性はありません。  
詳細は、オフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。  
<https://www.cybozu.com/jp/partner/list/sales/>

### 初めてガルーンの連携 API を使用する場合

「ガルーン 3 連携 API」を使用します。

「ガルーン 3 連携 API」については、弊社 Web サイトを参照してください。

<http://products.cybozu.co.jp/garoon/solution/api/information/index.html>

## 2.2 IIS の設定を変更する

---

ガルーンの Web サーバーとしてインターネット インフォメーション サービス(IIS)を使用する場合は、IIS の設定を変更する必要があります。

次の環境を使用している場合を例として説明します。

- Web サーバーの CGI 実行可能ディレクトリー: C:\inetpub\scripts
- Web サーバーのドキュメントルートディレクトリー: C:\inetpub\wwwroot
- インストール識別子: cbgrn

### IIS7 でガルーンを運用する場合

Windows Server 2008 環境で IIS7 を利用する場合は、次の設定が必要です。

- 1 Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] > [管理ツール] > [サーバーマネージャ]の順に選択します。
- 2 [役割] > [Web サーバー(IIS)] > [インターネット インフォメーション サービス(IIS) マネージャー]の順に選択します。
- 3 「接続」画面から、[サイト] > [Default Web Site] > [scripts] のディレクトリーを選択します。
- 4 [ハンドラ マッピング]をクリックし、[CGI-exe]を選択して、編集をクリックします。
- 5 「モジュール マップの編集」画面で、「実行可能ファイル(E):」に、ガルーンのインストール先ディレクトリーと実行ファイル名を入力します。  
例: C:\inetpub\scripts\cbgrn\grn.exe
- 6 「この ISAPI 拡張機能を有効にしますか?」と表示されたら、[はい(Y)]をクリックします。

#### 補足

- 同じ仮想ディレクトリーに、scripts を使用するほかの exe ファイルが存在する場合は、各 exe ファイルにスクリプト マップを設定する必要があります。

例: 初期値でサイボウズ デヂエを使用している場合のスクリプト マップ

|  |
|--|
| 要求パス: db.exe                             |
| 実行可能ファイル: C:\inetpub\scripts\cbdb\db.exe |
| 名前: db.exe                               |

- ISAPI 拡張機能を有効に設定すると、ガルーンのプログラムが IIS のプロセス上で実行されるようになります。

## IIS6 でガルーンを運用する場合

Windows Server 2003 環境で IIS6 を利用する場合は次の設定が必要です。

- 1 [スタート] > [すべてのプログラム(P)] > [管理ツール] > [インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャー] を選択します。
- 2 [Web サイト] > [既定の Web サイト] > [scripts] を選択します。
- 3 [scripts] を右クリックし、[新規作成] > [仮想ディレクトリ] を選択します。
- 4 [次へ] をクリックし、「エイリアス(A):」に、cbgrn と入力します。
- 5 「パス(P):」に、次のパスを入力し、[次へ] をクリックします。  
C:¥inetpub¥scripts¥cbgrn
- 6 「ISAPI アプリケーションや CGI などを実行する(E)」にチェックを入れて、[次へ] をクリックします。
- 7 [完了] をクリックします。

## 2.3 バージョン 2.1.3 へのバージョンアップ

---

バージョン 2.1.2 以前のガルーンを使用している場合は、バージョン 2.1.3 のガルーンに、バージョンアップするかデータを移行する必要があります。

### 注意

- バージョンアップする前に、バージョンアップ元のデータをバックアップする必要があります。  
バージョン 2.x.x のガルーンのバックアップについては、次のマニュアルを参照してください。  
『サイボウズ ガルーン 2 管理者マニュアル』「ガルーン 2」の保守」  
<http://manual.cybozu.co.jp/garoon2/library/#02>

### バージョン 2.0.0 から 2.1.2 までのガルーンからのバージョンアップ方法

ガルーンを、バージョン 2.0.x、2.1.0、2.1.1、または 2.1.2 から、2.1.3 にバージョンアップします。バージョンアップ手順については、次のマニュアルを参照してください。

『サイボウズ ガルーン 2 インストールマニュアル』「バージョンアップ」

<http://manual.cybozu.co.jp/garoon2/library/#01>

### バージョン 1.5.xからのバージョンアップ方法

バージョン 1.5.x のガルーンを、バージョン 2.1.3 にバージョンアップする場合は、次の作業が必要です。

- バージョン 2.1.3 のガルーン的环境を構築する
- 上記の環境にデータをコンバートする

バージョン 1.5.x のガルーンのデータをコンバートする方法については、オフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。

<https://www.cybozu.com/jp/partner/list/sales/>

### 補足

- バージョン 2.1.3 のガルーンが対応しない環境でガルーンのデータをコンバートする場合は、次のページを参照してください。  
「バージョン 2.1.3 のガルーンが対応しない Linux 環境での準備」 - 9 ページ  
「バージョン 2.1.3 のガルーンが対応しない Windows 環境での準備」 - 10 ページ



## 2.4 mysql-4.1 のマウント先の変更

単体構成やサーバー分離構成のデータベースサーバーで、MySQL のインストールディレクトリー(mysql-4.1)をマウントポイントとして別デバイスにマウントしている場合は、マウントポイントを変更します。

ここでは、インストール識別子を `cbgrn`、MySQL を `/usr/local/cybozu/mysql-4.1` にインストールした場合を例として説明します。

### 注意

- マウント先の変更は、必ずデータベースエンジンとスケジューリングサービスを停止した状態で行います。サービスの停止または起動方法については、次のページを参照してください。  
「付録 A サービスの停止方法と起動方法」 - 40 ページ

- スケジューリングサービスを停止します。
- データベースエンジンを停止します。
- マウントポイントを `/usr/local/cybozu/mysql-4.1` から `/usr/local/cybozu` に変更します。  
`/usr/local/cybozu/mysql-4.1` をアンマウントしてから、`/usr/local/cybozu` をマウントポイントにして再マウントします。
- `/usr/local/cybozu` の直下にディレクトリー「`mysql-4.1`」を作成します。
- 手順 4 で作成したディレクトリーにアクセス権を設定します。  
「`chown`」コマンドで設定する所有者に、Web サーバーの実行ユーザーを設定します。  
次のコマンドを入力します。  

```
chown apache:root /usr/local/cybozu/mysql-4.1  
chmod 755 /usr/local/cybozu/mysql-4.1
```
- 手順 4 で作成したディレクトリーに、ディレクトリー「`mysql-4.1`」を除く、`/usr/local/cybozu` 以下のすべてのディレクトリーとファイルを移動します。  
移動したディレクトリーに、Web サーバーの実行ユーザーの書き込み権限と読み込み権限があることを確認します。
- データベースエンジンを起動する
- スケジューリングサービスを起動する  
バージョン 2.1.3 のガルーンが正常に動作していることを確認します。

## 2.5 事前検証

実際の運用環境をバージョンアップする前に、必ず手順や環境など検証します。

次の点を確認します。

- 正常にガルーンをバージョン 3.5.0 にバージョンアップできるかどうか
- バージョンアップ後のディスク使用量  
「2.5.1 データベースサーバーのディスク使用量の確認」 - 18 ページ
- バージョンアップの所要時間
- バージョンアップ後のバックアップの処理時間  
「5.3 バックアップの処理時間の確認」 - 37 ページ

### 2.5.1 データベースサーバーのディスク使用量の確認

バージョンアップ後に、データベースのデータサイズが増加する場合があります。その場合、データベースサーバーのディスク使用量も増加します。

バージョンアップする前に事前検証を行い、バージョンアップ後のデータサイズを確認する必要があります。

また、バージョンアップ中に一時ファイルが生成されるため、実行時はディスクの空き容量に注意します。

ここでは、想定されるディスクの使用量と空き容量の最大値について説明します。

#### 注意

- 想定される最大値は、事前検証を行う場合の目安です。実際にバージョンアップする場合は、事前検証で確認した使用量を参考にしてください。

#### 補足

- データサイズの増加量は、データベースサーバーの運用年数や環境によって異なります。

#### バージョンアップ後のディスク使用量の最大値

バージョンアップ後のディスク使用量について、想定される最大値の目安は次のとおりです。

|   |
|---|
| $\text{data ディレクトリーのデータサイズ} \times 1.5 + \text{files ディレクトリーのデータサイズ}$<br>=バージョンアップ後データサイズの想定最大値 |
|---|

例:

data ディレクトリーのデータサイズが 100GB、files ディレクトリーのデータサイズが 300GB の場合  
 $100\text{GB} \times 1.5 + 300\text{GB} = 450\text{GB}$

#### バージョンアップ中に必要なディスク空き容量の最大値

バージョンアップ実行時に必要なディスク空き容量について、想定される最大値の目安は次のとおりです。

|  |
|--|
| $\text{data ディレクトリーのデータサイズ} \times 1.5$ =バージョンアップ実行時に必要なディスク空き容量 |
|--|

例:

data ディレクトリーのデータサイズが 100GB、files ディレクトリーのデータサイズが 300GB の場合  
 $100\text{GB} \times 1.5 = 150\text{GB}$

**補足**

- プログラムを実行しているディスク内の領域についても空き容量が必要です。ディスクの空き容量は、余裕をもって見積もってください。必要な空き容量は、数百個あるテーブルのうちの 1 個に相当するデータサイズです。
- ディスクの空き容量が不足した場合、次のエラーメッセージが表示されます。

Error: DB99999

データベースでエラーが発生しました。

データベースのエラー番号: 3

Cause:

データベースからの応答: Error writing file '/boot/versionup/versionup\_data.tmp' (Errcode: 28)

Counter Measure:

Please contact Cybozu Inc.

## 3章 バージョンアップの実行

---

ガルーンをバージョン 2.1.3 からバージョン 3.5.0 にバージョンアップする方法を説明します。

バージョンアップは、次のユーザーで行う必要があります。

- Windows 版 :Windows の Administrator ユーザー
- Linux 版 :root ユーザー

### 注意

- バージョンアップする前に、バージョン 2.1.3 のデータをバックアップします。バックアップについては、次のマニュアルを参照してください。  
『サイボウズ ガルーン 2 管理者マニュアル』[「ガルーン 2」の保守]  
<http://manual.cybozu.co.jp/garoon2/library/#02>
- バージョンアップすると、PHP ポートレットは非公開に設定されます。  
「PHP ポートレットを確認する」-35 ページ
- バージョンアップすると、my.ini ファイルが初期設定で設定されているファイルに置き換わります。バージョンアップ前に my.ini ファイルを変更していた場合は、バージョンアップ後に再度変更する必要があります。
- バージョンアップ後、my.ini のテーブルキャッシュサイズを変更する必要があります。  
単体構成の場合:「Step 2: テーブルキャッシュサイズを変更する」-22 ページ  
サーバー分離構成の場合:「Step 4: データベースサーバーで、テーブルキャッシュサイズを変更する」-26 ページ

### 補足

- ガルーンをバージョン 2.1.3 からバージョン 3.5.0 にバージョンアップする場合は、バージョンアップ後にガルーンのライセンスを登録する必要があります。ライセンスの登録については、次のページを参照してください。  
「ガルーンのライセンスを登録する」- 34 ページ

## 全文検索サーバーを停止する

全文検索を使用している場合は、全文検索サーバーを運用しているサーバーマシンで次のサービスを停止します。

### Windows 環境

- CybozuSearchServercbsearch
- Cybozu\_Database\_Engine\_5\_0

### Linux 環境

- cbss\_cbsearch
- cyde\_5\_0

全文検索サーバーのサービスの停止方法は次のマニュアルを参照してください。

『サイボウズ ガルーン 3 全文検索サーバーマニュアル』  
[https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3\\_other](https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3_other)

## 3.1 単体構成でのバージョンアップ

---

32ビット OS のサーバーマシンにインストールされたバージョン 2.1.3 のガルーンを、バージョン 3.5.0 にバージョン

アップする方法を説明します。

次の環境でバージョン 2.1.3 をインストールしている場合を例に説明します。

- インストール識別子 :cbgrn
- CGI 実行ディレクトリー:
  - Windows 環境 :C:\inetpub\scripts
  - Linux 環境 :/var/www/cgi-bin

#### 補足

- 64bit 版のバージョン 3.5.0 のガルーンにバージョンアップする場合は、次のページを参照してください。  
「4 章 64bit 版のガルーンへのバージョンアップ」 - 27 ページ
- スケジューリングサービスとサイボウズ データベースエンジンの起動方法と停止方法については、次のページを参照してください。  
「付録 A サービスの停止方法と起動方法」 - 40 ページ

### バージョンアップ前の準備

ガルーンをバージョン 3.5.0 にバージョンアップする前に、次の作業が必要です。

- Web サーバーとスケジューリングサービスの停止
- バージョン 3.5.0 のインストーラーの配置:  
Apache などの Web サーバーの実行ユーザーが、実行および書き込みできるディレクトリーにインストーラーを配置します。
- アクセス権の設定:  
インストーラーを配置したディレクトリーまでのすべてのディレクトリーに、Web サーバーの実行ユーザーが実行および書き込みできるアクセス権を設定します。
- my.ini ファイルのバックアップ:  
my.ini ファイルの初期値を変更している場合は、ガルーンをインストールするディレクトリー以外のディレクトリーに my.ini ファイルをコピーします。

## Step 1:バージョン 3.5.0 のガルーンにバージョンアップする

### 1 バージョンアッププログラムを展開します。

Windows 版 :versionup-1.0.x.zip  
Linux 版 :versionup-1.0.x.tar.gz

### 2 手順 1 で作成されたディレクトリー「versionup」を、次のディレクトリーに配置します。

Windows 版 :C:\inetpub\scripts\cbgrn  
Linux 版 :/var/www/cgi-bin/cbgrn

Windows 版を使用する場合は、手順 4 に進みます。

### 3 Linux 版のバージョンアッププログラムに、手順 2 のディレクトリーと同じ所有者やアクセス権を設定します。

### 4 バージョン 3.5.0 のインストーラーを実行し、ガルーンをバージョンアップします。

Windows 版 :grn-3.5.0-windows.exe  
Linux 版 :grn-3.5.0-linux.bin

#### Windows 版の注意事項:

インストーラーの実行中に、次のディレクトリーをエクスプローラーなどで表示しないでください。エラーが発生する場合があります。

例: (ガルーンのインストール先ディレクトリー)¥mysql-4.1¥data

エラーが発生した場合は、次の手順でバージョンアップを継続できます。

1. ディレクトリーを表示しているアプリケーションを終了します。
2. [再実行]をクリックします。

[キャンセル]をクリックすると、ガルーンはバージョンアップを中止します。

再度バージョンアップする場合は、バージョンアップの前にデータをリストアする必要があります。

#### 5 スケジューリングサービスを停止します。

インストーラーによるバージョンアップが終了すると、スケジューリングサービスが自動的に起動します。ここではスケジューリングサービスを停止します。

## Step 2: テーブルキャッシュサイズを変更する

#### 1 サイボウズ データベースエンジンを停止します。

#### 2 my.ini ファイルを開きます。

既定のディレクトリーにインストールした場合、my.ini ファイルは次のディレクトリーにあります。

Windows 版 : C¥Program Files¥Cybozu¥mysql-5.0¥etc¥my.ini

Linux 版 : /usr/local/cybozu/mysql-5.0/etc/my.ini

#### 3 table\_cache の値を、次のように変更します。

```
##table_cache=max_connections*2
```

```
max_connections =50
```

```
table_cache      =1300
```

#### 4 ガルーンを起動します。

サイボウズ データベースエンジン、スケジューリングサービスの順に起動します。

#### 5 Web サーバーを起動します。

#### 6 ガルーンが正常に動作していることを確認し、バージョンアップ後に必要な作業を行います。

「5章バージョンアップ後の確認と作業」 - 31 ページ

## 3.2 サーバー分離構成でのバージョンアップ

バージョン 2.x.x のガルーンのアプリケーションサーバーとデータベースサーバーを複数のサーバーマシンに分離して運用している場合のバージョンアップ方法を説明します。32 ビット OS を搭載したサーバーマシンが対象です。次のディレクトリーにバージョン 2.x.x のガルーンをインストールしている場合を例として説明します。

- Windows 版 : C:\inetpub\scripts\cbgrn
- Linux 版 : /var/www/cgi-bin/cbgrn

### 補足

- スケジューリングサービスとサイボウズ データベースエンジンの起動方法と停止方法については、次のページを参照してください。  
「付録 A サービスの停止方法と起動方法」 - 40 ページ

### バージョンアップ前の準備

ガルーンをバージョン 3.5.0 にバージョンアップする前に、次の作業が必要です。

- Web サーバーとスケジューリングサービスの停止
- バージョン 3.5.0 のインストーラーの配置:  
Apache などの Web サーバーの実行ユーザーが、実行および書き込みできるディレクトリーにインストーラーを配置します。
- アクセス権の設定:  
インストーラーを配置したディレクトリーまでのすべてのディレクトリーに、Web サーバーの実行ユーザーが実行および書き込みできるアクセス権を設定します。
- my.ini ファイルのバックアップ:  
my.ini ファイルの初期値を変更している場合は、ガルーンをインストールするディレクトリー以外のディレクトリーに my.ini ファイルをコピーします。

### Step 1: データベースサーバーで、ガルーンをバージョン 3.5.0 にバージョンアップする

- 1 データベースサーバーで、バージョンアッププログラムを解凍します。

Windows 版 : versionup-1.0.x.zip  
Linux 版 : versionup-1.0.x.tar.gz

- 2 手順 1 で展開したファイルを次のディレクトリーに配置します。

Windows 版 : C:\inetpub\scripts\cbgrn  
Linux 版 : /var/www/cgi-bin/cbgrn

Windows 版を使用する場合は、手順 4 に進みます。

- 3 Linux 版のバージョンアッププログラムに、手順 2 のディレクトリーと同じ所有者やアクセス権を設定します。

- 4 バージョン 3.5.0 のインストーラーを実行し、プログラムをバージョンアップします。

Windows 版 : grn-3.5.0-windows.exe  
Linux 版 : grn-3.5.0-linux.bin

詳しい手順は、次のマニュアルをサーバーマシンの OS に合わせて参照してください。

『サイボウズ ガルーン バージョン 3.5 サーバー分離構成インストールマニュアル』「ガルーンをバージョンアップする」

[https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3\\_install](https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3_install)

#### Windows 版の注意事項:

インストーラーの実行中に、次のディレクトリーをエクスプローラーなどで表示しないでください。エラーが発生する場合があります。

例: (ガルーンのインストール先ディレクトリー)¥mysql-4.1¥data

エラーが発生した場合は、次の手順でバージョンアップを継続できます。

1. ディレクトリーを表示しているアプリケーションを終了します。
2. [再実行]をクリックします。  
[キャンセル]をクリックすると、ガルーンはバージョンアップを中止します。  
再度バージョンアップする場合は、バージョンアップの前にデータをリストアする必要があります。

#### 5 スケジューリングサービスを停止します。

インストーラーによるバージョンアップが終了すると、スケジューリングサービスが自動的に起動します。ここではスケジューリングサービスを停止します。

## Step 2: 各アプリケーションサーバーで、ガルーンをバージョン 3.5.0 にバージョンアップする

### 1 各アプリケーションサーバーで、バージョンアッププログラムを解凍します。

Windows 版 : versionup-1.0.x.zip

Linux 版 : versionup-1.0.x.tar.gz

### 2 手順 1 で展開したファイルを次のディレクトリーに配置します。

Windows 版 : C:¥inetpub¥scripts¥cbgrn

Linux 版 : /var/www/cgi-bin/cbgrn

Windows 版を使用する場合は、手順 4 に進みます。

### 3 Linux 版のバージョンアッププログラムに、手順 2 のディレクトリーと同じ所有者やアクセス権を設定します。

### 4 バージョン 3.5.0 のインストーラーを実行し、プログラムをバージョンアップします。

Windows 版 : grn-3.5.0-windows.exe

Linux 版 : grn-3.5.0-linux.bin

詳しい手順は、次のマニュアルをサーバーマシンの OS に合わせて参照してください。

『サイボウズ ガルーン バージョン 3.5 サーバー分離構成インストールマニュアル』「ガルーンをバージョンアップする」

[https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3\\_install](https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3_install)

#### Windows 版の注意事項:

インストーラーの実行中に、次のディレクトリーをエクスプローラーなどで表示しないでください。エラーが発生す



る場合があります。

例: (ガルーンのインストール先ディレクトリー)¥mysql-4.1¥data

エラーが発生した場合は、次の手順でバージョンアップを継続できます。

1. ディレクトリーを表示しているアプリケーションを終了します。
2. [再実行]をクリックします。  
[キャンセル]をクリックすると、ガルーンはバージョンアップを中止します。  
再度バージョンアップする場合は、バージョンアップの前にデータをリストアする必要があります。

## Step 3: 添付ファイルやセッションデータの保存先を変更する

### 1 各アプリケーションサーバーの files ディレクトリーのパーミッションを確認します。

files ディレクトリーは、添付ファイルを保存する領域です。

各アプリケーションサーバーの files ディレクトリーに、Web サーバーの実行ユーザーの書き込み権限がないことを確認します。

書き込み権限がある場合、権限を外します。

### 2 各アプリケーションサーバーで、files ディレクトリーのネットワーク共有を再設定します。

files ディレクトリーに MySQL のインストールディレクトリーが含まれる場合は、マウント先を変更する必要があります。ディレクトリー名が「mysql-4.1」から「mysql-5.0」にリネームされているためです。

マウント先の変更手順については、次のページを参照してください。

「マウント先を変更する」 - 33 ページ

バージョン 2.1.3 のガルーンで、セッションデータを MySQL 以外のディレクトリーに保存していた場合は、Step4 に進みます。

### 3 セッションデータの保存先(MySQL のディレクトリー)を共有します。

セッションデータの保存先を共有するため、セッションデータの保存領域を設定します。手順については、次のマニュアルをサーバーマシンの OS に合わせて参照してください。

『サイボウズ ガルーン バージョン 3.5 サーバー分離構成インストールマニュアル』「データの保存先を変更する」

[https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3\\_install](https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3_install)

## バージョンアップ後のセッションデータの保存先について

バージョン 2.1.3 のガルーンのセッションデータを MySQL に保存していた場合、バージョンアップ後の保存先が変わります。バージョン 3.5.0 のセッションデータはファイルとして保存されます。

セッションデータの保存先は、php.ini ファイルの[session]セクションに記述されています。

### php.ini ファイル

Windows 版 :C:¥inetpub¥scripts¥cbgrn¥php.ini

Linux 版 :/var/www/cgi-bin/cbgrn/php.ini

#### [session]セクションの記述例

- MySQL にセッションデータを保存している場合:

```
;; Set this to "user" to store session data into database.  
session.save_handler = user
```

- バージョン 3.5.0 にバージョンアップした場合:

```
;; Set this to "user" to store session data into database.  
session.save_handler = files
```

## Step 4: データベースサーバーで、テーブルキャッシュサイズを変更する

- 1 データベースエンジンを停止します。

- 2 my.ini ファイルを開きます。

既定のディレクトリーにインストールした場合、my.ini ファイルは次のディレクトリーにあります。

Windows 版 : C¥Program Files¥Cybozu¥mysql-5.0¥etc¥my.ini

Linux 版 : /usr/local/cybozu/mysql-5.0/etc/my.ini

- 3 table\_cache の値を、次のように変更します。

```
###table_cache=max_connections*2
```

```
max_connections =50
```

```
table_cache      =1300
```

- 4 データベースサーバーで、ガルーンを起動します。

サイボウズ データベースエンジン、スケジューリングサービスの順に起動します。

- 5 各アプリケーションサーバーで、Web サーバーを起動します。

- 6 ガルーンが正常に動作していることを確認し、バージョンアップ後に必要な作業を行います。

「5章バージョンアップ後の確認と作業」 - 31 ページ

## 4章 64bit 版のガルーンへのバージョンアップ

バージョン 2.1.3 のガルーンを、64bit 版のバージョン 3.5.0 にバージョンアップする場合に必要な作業を説明します。バージョンアップは、次のユーザーで行う必要があります。

- Windows 版 : Windows の Administrator ユーザー
- Linux 版 : root ユーザー

バージョンアップには、次の方法があります。

### 32 ビット OS でバージョン 3.5.0 にバージョンアップする

バージョン 2.1.3 のガルーンを 32 ビット OS 環境でバージョンアップした後、64 ビット OS 環境にデータを移行します。作業手順については、次のページを参照してください。

「4.1 32 ビット OS でのバージョンアップ」 - 27 ページ

### 64 ビット OS でバージョン 3.5.0 にバージョンアップする

バージョンアップ元の環境から 64 ビット OS 環境にデータを移行した後、移行先の環境でバージョン 3.5.0 にバージョンアップします。

作業の手順は、次のページを参照してください。

「4.2 64 ビット OS でのバージョンアップ」 - 29 ページ

#### 注意

- バージョンアップする前に、バージョン 2.1.3 のデータをバックアップします。バックアップについては、次のマニュアルを参照してください。  
『サイボウズ ガルーン 2 管理者マニュアル』「ガルーン 2」の保守」  
<http://manual.cybozu.co.jp/garoon2/library/#02>
- 最新のガルーンにバージョンアップすると、PHP ポートレットは非公開に設定されます。  
「PHP ポートレットを確認する」-35 ページ
- バージョンアップすると、my.ini ファイルが初期設定で設定されているファイルに置き換わります。バージョンアップ前に my.ini ファイルを変更していた場合は、バージョンアップ後に再度変更する必要があります。
- バージョンアップ後、my.ini のテーブルキャッシュサイズを変更する必要があります。  
単体構成の場合: 「Step 2: テーブルキャッシュサイズを変更する」-22 ページ  
サーバー分離構成の場合: 「Step 4: データベースサーバーで、テーブルキャッシュサイズを変更する」-26 ページ

#### 補足

- ガルーンをバージョン 2.1.3 からバージョン 3.5.0 にバージョンアップする場合は、バージョンアップ後にガルーンのライセンスを登録する必要があります。ライセンスの登録については、次のページを参照してください。  
「ガルーンのライセンスを登録する」 - 34 ページ
- 64bit 版の Windows Server 2008 で Apache を利用する場合、初期設定では、Apache のファイルは次のディレクトリに保存されます。  
C:¥Program Files (x86)¥Cybozu

## 4.1 32 ビット OS でのバージョンアップ

32 ビット OS 環境でバージョン 3.5.0 にバージョンアップした後、次の 64 ビット OS 環境でバージョン 3.5.0 を運用する場合、バージョンアップ元とバージョンアップ先の環境で必要な作業を行います。

- Red Hat Enterprise Linux AS v.4 (64bit 版)
- Red Hat Enterprise Linux ES v.4 (64bit 版)
- Red Hat Enterprise Linux 5 (64bit 版)
- Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform (64bit 版)
- Red Hat Enterprise Linux 6(64bit 版)
- SUSE Linux Enterprise Server 11 (64bit 版)
- Windows Server 2003, Standard x64 Edition (SP2)
- Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition (SP2)
- Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition (SP2)
- Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition (SP2)
- Windows Server 2008 Standard x64 (SP2)
- Windows Server 2008 Enterprise x64 (SP2)
- Windows Server 2008 R2 Standard x64 (SP1)
- Windows Server 2008 R2 Enterprise x64 (SP1)

**1 32ビット OS 環境で、ガルーンをバージョン 2.1.3 から 3.5.0 にバージョンアップします。**

バージョンアップ手順については、次のページを参照してください。

「3章 バージョンアップの実行」 - 20 ページ

**2 32ビット OS 環境でガルーンデータをバックアップし、64ビット OS 環境にサーバーを移行します。**

バックアップ手順やサーバーの移行手順については、次のマニュアルを参照してください。

『サイボウズ ガルーン バージョン 3.5 管理者マニュアル』「32 ビット OS から 64 ビット OS にガルーンを移行する」

[https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3\\_admin](https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3_admin)

## 4.2 64 ビット OS でのバージョンアップ

64 ビット OS 環境で、ガルーンをバージョン 2.1.3 からバージョンアップする方法について説明します。  
バージョン 2.1.3 が対応しない 64 ビット OS 環境でバージョンアップする場合は準備が必要です。次のページを参照してください。  
「2 章 バージョンアップ前の準備と確認」 - 9 ページ

### 4.2.1 64bit版のLinux環境でのバージョンアップ

64bit 版の Linux 環境で、ガルーンをバージョン 2.1.3 からバージョンアップする方法について説明します。

#### 補足

- バージョン 3.5.0 のガルーンが対応し、バージョン 2.1.3 のガルーンで対応しない OS については、次のページを参照してください。  
「バージョン 2.1.3 のガルーンが対応しない Linux 環境での準備」 - 9 ページ

#### 1 64ビット OS 環境にバージョン 2.1.3 のガルーンをインストールします。

専用のインストーラー (grn-2.1.3a-linux.bin) を使用します。

grn-2.1.3a-linux.bin については、次のページを参照してください。

「2 章 バージョンアップ前の準備と確認」 - 9 ページ

#### 2 バックアップした次のデータを、手順 1 でインストールしたガルーンにリストア(コピー)します。

- data
- files

バックアップデータのリストアについては、次のマニュアルを参照してください。

『サイボウズ ガルーン 2 管理者マニュアル』『「ガルーン 2」の保守』

<http://manual.cybozu.co.jp/garoon2/library/#02>

#### 3 64 ビット OS 環境で、バージョン 2.1.3 のガルーンをバージョン 3.5.0 にバージョンアップします。

64bit 版のインストーラー (grn-3.5.0-linux-x64.bin) と、バージョンアッププログラム (versionup-1.0.x.tar.gz) を使用します。

バージョンアップ方法については、次のページを参照してください。

「3 章 バージョンアップの実行」 - 20 ページ

#### 補足

- バージョンアッププログラムの実行結果を確認する場合は、次のページを参照してください。  
「5 章バージョンアップ後の確認と作業」 - 31 ページ

## 4.2.2 64bit版のWindows環境でのバージョンアップ

64bit 版の Windows 環境で、ガルーンをバージョン 2.1.3 からバージョンアップする方法について説明します。

### 1 64ビット OS 環境にバージョン 2.1.3 のガルーンをインストールします。

grn-2.1.3-windows.exe を使用します。

### 2 バックアップした次のデータを、手順 1 でインストールしたガルーンにリストア(コピー)します。

- data
- files

バックアップデータのリストアについては、次のマニュアルを参照してください。

『サイボウズ ガルーン 2 管理者マニュアル』「ガルーン 2」の保守」

<http://manual.cybozu.co.jp/garoon2/library/#02>

### 3 64ビット OS 環境で、バージョン 2.1.3 のガルーンをバージョン 3.5.0 にバージョンアップします。

64bit 版のインストーラー (grn-3.5.0-windows-x64.exe) と、バージョンアッププログラム (versionup-1.0.x.zip) を使用します。

バージョンアップ方法については、次のページを参照してください。

「3章 バージョンアップの実行」 - 20 ページ

#### 補足

- バージョンアッププログラムの実行結果を確認する場合は、次のページを参照してください。  
「5.1 バージョンアップ実行結果の確認」 - 31 ページ
- バージョンアップ先の 64ビット OS 環境でバージョン 3.5.0 にバージョンアップする場合、バージョンアップ先の OS には、バージョン 2.1.3 が対応している OS が必要です。  
ただし、次の OS でバージョン 3.5.0 にバージョンアップする目的でのみ、grn-2.1.3-windows.exe を使用できません。
  - Windows Server 2008 R2 Standard x64 (SP1)
  - Windows Server 2008 R2 Enterprise x64 (SP1)
  - Windows Server 2008 R2 Standard x64 (SP2)
  - Windows Server 2008 R2 Enterprise x64 (SP2)

grn-2.1.3-windows.exe は、上記の環境では運用目的で使用しないでください。

## 5章 バージョンアップ後の確認と作業

バージョンアップが正常に終了しているかどうか、実行結果をログで確認します。また、NFS や別デバイスを使用してデータを保存している場合は、マウントの設定を変更する必要があります。

実行結果の確認方法と、バージョンアップ後の作業を説明します。

### 5.1 バージョンアップ実行結果の確認

バージョンアッププログラムの実行後、バージョンアップの実行結果を確認します。

実行結果はバージョンアップ実行ログで確認できます。

次の環境でバージョン 3.5.0 にバージョンアップした場合を例に説明します。

- インストール識別子 : cbgrn
- CGI 実行ディレクトリー:
  - Windows 環境 : C:\inetpub\scripts
  - Linux 環境 : /var/www/cgi-bin

バージョンアップ実行ログの保存先ディレクトリーとファイル名は、次のとおりです。

#### Windows 版

ディレクトリー: C:\inetpub\scripts\cbgrn

ファイル名: versionup\_xxx.log

#### Linux 版

ディレクトリー: /var/www/cgi-bin/cbgrn

ファイル名: versionup\_xxx.log

### バージョンアップ実行ログの警告メッセージ

バージョンアップが途中で終了した場合、バージョンアップ実行ログに次のエラーメッセージが出力されます。

```
!!! Versionup is failed !!!
```

バージョンアップ実行ログには、次の警告メッセージ(「!!!」で始まるレコード)が出力される場合があります。エラーメッセージおよび警告メッセージは、バージョンアップ処理中に確認が必要な現象が発生したことを表します。

#### 警告メッセージ一覧

| エラーメッセージ                            | エラー内容  | 発生している現象                 |
|-------------------------------------|--|--------------------------|
| !!! can not chdir:\${mysql_bin_dir} | システムテーブルのアップグレードのために、カレントディレクトリーを \${mysql_bin_dir}に変更しようとしたが失敗した。 | システムテーブルのアップグレードができていない。 |

| エラーメッセージ                                | エラー内容   | 発生している現象                  |
|---|---|---------------------------|
| !!! can not execute<br>command:\${name} | システムテーブルのアップグレードのために、コマンド\${name}を実行しようとしたが失敗した。            | システムテーブルのアップグレードができていない。  |
| !!! missing dir:\${src}                 | 添付ファイルディレクトリー\${src}を移動させようとしたが、存在しないかアクセスできなかった。           | 添付ファイルディレクトリーが作成されていない。   |
| !!! can not read dir:\${src}            | 添付ファイルディレクトリーのサブディレクトリー\${src}を移動させようとしたが、存在しないかアクセスできなかった。 | 添付ファイルディレクトリーが一部作成されていない。 |
| !!! can not create dir:\${dst}          | 添付ファイルディレクトリーを\${dst}に移動させようとしたが、ディレクトリーを作成できなかった。          | 添付ファイルディレクトリーが作成されていない。   |
| !!! missing file:\${src}                | 添付ファイル\${src}を移動させようとしたが、存在しないかアクセスできなかった。                  | 添付ファイルが移行できていない。          |
| !!! can not create file:\${dst}         | 添付ファイルを\${dst}に移動させようとしたが、ファイルを作成できなかった。                    | 添付ファイルが移行できていない。          |

#### 補足

- バージョンアップ前に添付ファイルが削除されたメールなど、移行の対象にならないファイルがあった場合は、次のメッセージが表示されます。

```
skip file:${src}
```

## コンソール上のエラーメッセージの見かた

バージョンアッププログラムを実行すると、バージョンアップ実行ログに次のエラーメッセージが表示されます。これは仕様であり、処理は正常に終了しています。

エラーメッセージの例：

```
error : Table upgrade required. Please do "REPAIR TABLE `columns_priv`" to fix it!
error : Table upgrade required. Please do "REPAIR TABLE `db`" to fix it!
error : Table upgrade required. Please do "REPAIR TABLE `func`" to fix it!
error : Table upgrade required. Please do "REPAIR TABLE `help_relation`" to fix it!
error : Table upgrade required. Please do "REPAIR TABLE `host`" to fix it!
error : Table upgrade required. Please do "REPAIR TABLE `tables_priv`" to fix it!
error : Table upgrade required. Please do "REPAIR TABLE `time_zone`" to fix it!
error : Table upgrade required. Please do "REPAIR TABLE `time_zone_leap_second`" to fix it!
error : Table upgrade required. Please do "REPAIR TABLE `time_zone_name`" to fix it!
error : Table upgrade required. Please do "REPAIR TABLE `time_zone_transition`" to fix it!
error : Table upgrade required. Please do "REPAIR TABLE `time_zone_transition_type`" to fix it!
error : Table upgrade required. Please do "REPAIR TABLE `user`" or dump/reload to fix it!
```



## 5.2 バージョンアップ後の作業

ガルーンをバージョン 3.5.0 にバージョンアップした後に行う作業を説明します。

### スケジューリングサービスの自動起動を無効にする

サーバー分離構成でガルーンを運用する場合は、アプリケーションサーバーのスケジューリングサービスの自動起動を無効にする必要があります。

手順については、次のマニュアルをサーバーマシンの OS に合わせて参照してください。

『サイボウズ ガルーン サーバー分離構成マニュアル』「サービスの自動起動の設定」

### マウント先を変更する

ガルーンをバージョン 3.5.0 にバージョンアップすると、MySQL がインストールされているディレクトリーが「mysql-4.1」から「mysql-5.0」にリネームされます。

NFS でマウントしている場合や別デバイスにマウントしている場合は、バージョンアップ後に次の作業を行います。

#### サーバー分離構成の NFS マウントの設定を変更する

アプリケーションサーバーで NFS マウントを設定している場合は、ディレクトリーパスの設定を変更します。サーバーマシンの起動時に fstab など自動マウントの設定を行っている場合は、設定を変更し、サーバーマシンを再起動します。

データベースサーバー側では、NFS のエクスポートポイントを変更するため、/etc/exports の修正が必要です。

#### data、files ディレクトリーのマウント先を変更する

data と files ディレクトリーが別のデバイスにマウントされていて、かつサーバーマシンの起動時に fstab など自動マウント設定を行っている場合は、設定を変更し、サーバーマシンを再起動します。

### 一時ファイルの保存先を確認する

バージョン 2.5.0 以降のガルーンで、一時ファイルの保存先のディレクトリーを変更しました。バージョン 2.1.3 以前のガルーンからバージョン 3.5.0 にバージョンアップした場合は、一時ファイルの保存先を使用しているタスクやコマンドなどを確認し、必要に応じて変更してください。

一時ファイルの保存先は次のとおりです。

#### バージョン 2.5.0 以降のガルーン

- (CGI 実行可能ディレクトリー)/(インストール識別子)/tmp 以下
- (CGI 実行可能ディレクトリー)/(インストール識別子)/upload\_tmp 以下

#### バージョン 2.1.3 以前のガルーン

- (インストールディレクトリー)/mysql-x.x/tmp/(インストール識別子) 以下
- (インストールディレクトリー)/mysql-x.x/upload\_tmp/(インストール識別子) 以下

## サービス名やスクリプト名を変更する

MySQL がインストールされているディレクトリー名やサービス名などを、実際の環境に合わせて変更します。

## バックアップモードを使用可能にする

バージョン 2.1.3 以前のガルーンからバージョン 2.5.0 以降のガルーンにバージョンアップすると、初期設定でバックアップモードが無効に設定されます。

設定を変更する手順は、次のマニュアルを参照してください。

『サイボウズ ガルーン バージョン 3.5 管理者マニュアル』「バックアップモードの設定」

## my.ini ファイルの設定を変更する

バージョンアップすると、my.ini ファイルが初期設定で設定されているファイルに置き換わります。バージョンアップ前に my.ini ファイルの初期値を変更していた場合は、バージョンアップ後に再度変更する必要があります。

### 補足

- バージョン 3.0.0 以降のガルーンでは、テーブルキャッシュサイズの推奨値が変更されています。my.ini ファイルのテーブルキャッシュサイズを変更する場合は、次のマニュアルを参照してください。  
『サイボウズ ガルーン バージョン 3.5 インストールマニュアル』「テーブルキャッシュサイズを変更する」  
[https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3\\_install](https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3_install)

## 認証パスワードを再設定する

次の条件をすべて満たす場合、バージョンアップ後に認証パスワードを再設定します。

- バージョンアップ前にサイボウズ共通認証を使用していた
- バージョンアップ後にオープン統合認証 ver.2 またはサイボウズ共通認証を使用する

サイボウズ共通認証の認証パスワードを再設定する手順は、次のとおりです。

- 「システム管理」画面で、[基本システムの管理] > [認証]の順にクリックし、[セッション認証]をクリックします。
- 「セッション認証」画面で、設定したサイボウズ共通認証のセッション認証名をクリックします。
- [変更する]をクリックします。
- 認証パスワードを入力し、[変更する]をクリックします。  
バージョンアップ前に設定していたパスワードも使用できます。

## ガルーンのライセンスを登録する

ガルーンをバージョン 2.1.3 から 3.5.0 にバージョンアップする場合、バージョンアップ後にガルーンのライセンスを登録する必要があります。

ライセンスを登録するまではガルーンの試用期間として扱われます。試用期間中にライセンスが登録されなかった場合、ガルーンのアプリケーションは使用できなくなります。

ライセンスの登録方法については、次のマニュアルを参照してください。

『サイボウズ ガルーン バージョン 3.5 管理者マニュアル』「ライセンスを登録する」

[https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3\\_admin](https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3_admin)

#### 補足

- ガルーンは、バージョン 3.1.0 からサービスライセンスの内容を変更しています。詳細は、弊社 Web サイトを参照してください。  
<http://products.cybozu.co.jp/garoon/price/licence/service.html>

## PHP ポートレットを確認する

バージョン 3.5.0 より前のガルーンを最新のガルーンにバージョンアップすると、PHP ポートレットは非公開に設定されます。バージョンアップ後も同じ PHP ポートレットを使用する場合は、エラーが発生しないことを確認してから公開してください。

#### 注意

- php.ini ファイルの error\_reporting の設定値が変更されたことによって、古いバージョンの PHP を使用している PHP ポートレットを使うとエラーが発生する場合があります。対応するガルーンと PHP のバージョンは、次のとおりです。
  - ガルーン バージョン 3.1.0 まで: PHP4
  - ガルーン バージョン 3.1.0 以降: PHP5

## LDAP に SSL で接続する場合の確認事項

ガルーンで利用している LDAP に SSL で接続する場合は、接続のための設定が必要です。設定の手順については、弊社の Web サイトを参照してください。

<http://manual.cybozu.co.jp/tech/sslsetup.html>

#### 補足

- Windows 環境で SSL を使用する場合は、弊社の Web サイトで制限事項を確認してください。  
<https://support.cybozu.com/ja-JP/article/4139>

## リモートサービスの製品情報を更新する

バージョン 2.5.3 以前のガルーンでリモートサービスを使用している場合は、バージョン 3.5.0 にバージョンアップした後、リモートサービス側で製品情報を更新します。

製品情報を更新しないと、リモートサービスを經由してガルーンを使用するときに、ファイル一括添付が使用できません。

次のいずれかの方法でリモートサービスの製品情報を更新します。

- リモートサービスを最新版にバージョンアップしてから「製品情報の更新」を行う
- リモートサービスからガルーンの製品情報を一度削除し、再度同じ製品を追加する  
製品を追加した後、リモートサービス利用ユーザーの再登録が必要です。

**補足**

- リモートサービスの設定については、次のマニュアルを参照してください。  
サイボウズ リモートサービス マニュアル:<http://manual.cybozu.co.jp/remote/>

## 全文検索サーバーを起動する

全文検索を使用している場合は、全文検索サーバーを運用しているサーバーマシンで次のサービスを起動します。

### Windows 環境

- CybozuSearchServercbsearch
- Cybozu\_Database\_Engine\_5\_0

### Linux 環境

- cbss\_cbsearch
- cyde\_5\_0

全文検索サーバーのサービスの起動方法は次のマニュアルを参照してください。

『サイボウズ ガルーン 3 全文検索サーバーマニュアル』  
[https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3\\_other](https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3_other)

## 5.3 バックアップの処理時間の確認

ガルーンをバージョン 2.1.3 から 2.5.0 以降にバージョンアップすると、データのバックアップに時間がかかる場合があります。

次の方法で問題の改善が見込めます。

### バックアップの処理時間に時間がかかる場合の対処

次の環境でインストールしたガルーンを、バージョン 3.5.0 にバージョンアップした場合を例に説明します。

- インストール識別子: cbgrn
- CGI 実行ディレクトリー
  - Windows 環境: C:\inetpub\scripts
  - Linux 環境: /var/www/cgi-bin

#### Linux 環境

バージョン 2.1.3 以前と 2.5.0 以降のガルーンで、データの保存先ディレクトリーの構成が異なるために、バックアップに時間が掛かる場合があります。

バージョン 2.5.0 以降のガルーンにバージョンアップする際、バージョン 2.1.3 以前のメールデータを 2.5.0 用のディレクトリー構成に再配置するため、再配置用のディレクトリーが大量に作成されます。ディレクトリーの数が多いとデータの検索やコピーに時間がかかります。

次の条件を満たす場合、作成されたディレクトリー数に比例してバックアップの処理速度が遅くなることが確認されています。

- バージョン 2.x.x のガルーンで「メール」を使用していた。
- バージョン 3.x.x のガルーンで「メール」を使用している。
- データをコピーする方法でバックアップしている。

#### 補足

- バージョン 2.5.0 以降のガルーンを新規でインストールし、バージョンアップしたあとのディレクトリー数の増加速度は、バージョン 2.1.3 以前のガルーンと同様です。
- ディレクトリーやファイルをコピーしてデータをバックアップすると、ディレクトリー数が増加します。スナップショットやイメージを保存する方法でデータをバックアップすると、ディレクトリー数の増加は処理速度にあまり影響しません。

バージョンアップ時に作成されたディレクトリーは、ディスク内に分散しています。分散したディレクトリーを最適化すると、バックアップの処理時間の短縮が見込めます。

手順は次のとおりです。

- 1 **files/cbgrn/mail をディスクの空き領域にコピーします。**  
空き領域が不足する場合は、ほかのサーバーマシンのハードディスクやバックアップメディアなどに files/cbgrn/mail をコピーします。
- 2 **手順 1 のコピー元の files/cbgrn/mail を削除します。**
- 3 **手順 1 でコピーした files/cbgrn/mail を、手順 2 で削除したディレクトリーと同じディレクトリーにコピーします。**

実行例:

```
cd /usr/local/cybozu/mysql-5.0
cp -rp files/cbgrn/mail files/cbgrn/mail.new
rm -rf files/cbgrn/mail
mv files/cbgrn/mail.new files/cbgrn/mail
```

### Windows 環境

バージョンアップ後にサーバーマシンの OS を再インストールすると、バックアップの処理時間の短縮が見込めます。手順は次のとおりです。

#### 1 ガルーンを停止します。

Web サーバー、スケジューリングサービス、サイボウズ データベースエンジンの順に停止します。

#### 2 ガルーンデータをバックアップします。

バックアップメディアなどのハードディスク以外の場所に、次のデータをバックアップします。

- バックアップ元のディレクトリー:  
(ガルーンのインストール先ディレクトリー)¥mysql-5.0
- バックアップするデータ:  
次のデータをディレクトリーごとコピーします。
  - data
  - files
  - etc

#### 3 次の情報を確認し、設定されている値をテキストファイルなどに控えます。

- ガルーンのバージョン
- インストール識別子
- データベース接続ユーザーのパスワード
- データベース管理ユーザーのパスワード

#### 4 サーバーマシンの OS を再インストールします。

#### 5 サーバーマシンに、ガルーンをインストールします。

次の値は、手順 3 で確認した値を設定します。

- ガルーンのバージョン
- インストール識別子
- データベース接続ユーザーのパスワード
- データベース管理ユーザーのパスワード

#### 6 ガルーンを初期化します。

コマンド プロンプトでガルーンを初期化できます。

初期化の手順については、次のマニュアルを参照してください。

『サイボウズ ガルーン バージョン 3.5 インストールマニュアル』「初期化する」

[https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3\\_install](https://help.cybozu.com/ja/g/guide/index.html#gr3_install)

- 7 **ガルーンを停止します。**  
Web サーバー、スケジューリングサービス、サイボウズ データベースエンジンの順に停止します。
- 8 **データの保存先ディレクトリーを削除します。**  
手順 2 でバックアップしたデータをリストアする前に、次のディレクトリーを削除します。
  - (ガルーンのインストール先ディレクトリー)¥mysql-5.0¥data
  - (ガルーンのインストール先ディレクトリー)¥mysql-5.0¥files
  - (ガルーンのインストール先ディレクトリー)¥mysql-5.0¥etc
- 9 **手順 2 でバックアップしたデータをリストアします。**  
リストア先のディレクトリーに、手順 2 でバックアップしたデータをコピーします。
  - リストア先のディレクトリー:  
(ガルーンのインストール先ディレクトリー)¥mysql-5.0
  - リストアするデータ:  
次のデータをディレクトリーごとコピーします。
    - Data
    - Files
    - etc
- 10 **ガルーンを起動します。**  
サイボウズ データベースエンジン、スケジューリングサービス、Web サーバーの順に起動します。
- 11 **Web ブラウザーでガルーンにアクセスし、正常に動作することを確認します。**

#### 補足

- スケジューリングサービスとサイボウズ データベースエンジンの停止方法については、次のページを参照してください。  
「付録 A サービスの停止方法と起動方法」 - 40 ページ

## 付録A サービスの停止方法と起動方法

---

スケジューリングサービスとサイボウズ データベースエンジンの、停止方法と起動方法を説明します。ここでは、インストール識別子を「cbgrn」に設定した場合を例に説明します。

### 注意

- Administrator 権限を持つユーザーまたは root ユーザーで作業を行います。

### 付録A.1 サービスを停止する

---

スケジューリングサービス、サイボウズ データベースエンジンの順に停止します。

#### Windows 環境

- Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス]の順に選択する
- 「Cybozu\_Scheduling\_Service\_cbgrn」を選択し、[サービスの停止]をクリックする
- 「Cybozu\_Database\_Engine\_5\_0」を選択し、[サービスの停止]をクリックする

#### Linux 環境

- スケジューリングサービスを停止する

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyss_cbgrn stop
```

- サイボウズデータベースエンジンを停止する

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyde_5_0 stop
```

### 付録A.2 サービスを起動する

---

サイボウズ データベースエンジン、スケジューリングサービスの順に起動します。

#### Windows 環境

- Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス]の順に選択する
- 「Cybozu\_Database\_Engine\_5\_0」を選択し、[サービスの開始]をクリックする
- 「Cybozu\_Scheduling\_Service\_cbgrn」を選択し、[サービスの開始]をクリックする



---

## Linux 環境

### 1 サイボウズデータベースエンジンを起動する

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyde_5_0 start
```

### 2 スケジューリングサービスを起動する

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyss_cbgrn start
```

---

お問い合わせ先

<http://products.cybozu.co.jp/garoon/support/>

発行日

2013年6月 第4.3版発行

発行者

サイボウズ株式会社

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-4-14 後楽森ビル 12F

Copyright (C) 2010-2013 Cybozu